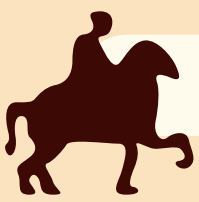


定着ドリル 学習マニュアル



目次

学習の進め方	…	1
学習目標を立てよう	…	3
ドリルの使い方	…	5
テストの使い方	…	7
トラブルシューティング	…	11
推奨動作環境	…	12



学習の進め方

定着ドリルを使った学習ステップを、ここでまとめておきましょう！

まずは、定着ドリルにログイン！

こちらの URL から、定着ドリルの画面に行きます。
<https://portal.chieru.net/isportal/>

ID とパスワードを入力する画面が出てきますので、先生から聞いた ID とパスワード入力してください。定着ドリルにログインできます。



トップ画面を確認！

定着ドリルのトップ画面には、様々な情報が載っています。先生からのメッセージや今日の学習目標などを、チェックしましょう。

「先生からのアナウンス」

担当の先生からのお知らせや応援メッセージが届くボックスです。

「今月のログインカレンダー」

1回でもログインした日には、スタンプがつかます。パーフェクトを目指しましょう！

「学習目標」

ラーニングデザイナーで学習目標を立てていると、今日やるべきユニットがトップページに表示されるようになります。ユニット名をクリックすればすぐに学習を始めることができますので、是非活用してください。標準学習時間も表示されますので、計画的に学習を進められます。ピンクの色がかかっているユニットは、前日までやり残しているユニットです。

「総クリアユニット数」「総学習時間」

今までにどれだけのユニットをクリアしたのか、今までにどれだけの時間定着ドリルで学習したのか、が表示されています。やればやるほど数字が伸びていきますので、やる気が出てきますね。

上部のボタン

トップページに限らず、定着ドリルで学習している時には上部に「トップへ」「質問履歴」「終了する」という3つのボタンが表示されています。

「トップへ」をクリックすると、トップ画面に戻ります。

「質問履歴」をクリックすると、今までに先生に質問した内容とその回答とが一覧で表示されます。

「終了する」をクリックすると、定着ドリルでの学習を終了します。

上部のメッセージボックス

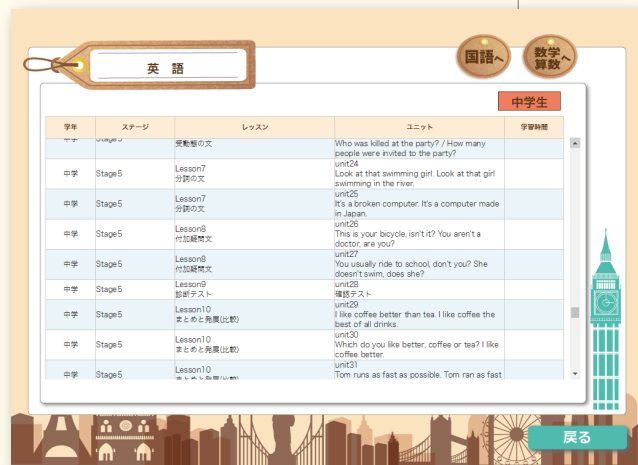
これも、定着ドリル学習中には常に上部に表示されています。先生からリアルタイムでのお知らせやメッセージが送られてくることがあります。



ドリルで鍛える

ドリルは、単元ごとに問題を解いて理解を定着・確認していくことができます。教科は「英語」「国語」「数学/算数」の3教科から選択してください。学年は「小学生」「中学生」「高校生」の3つから選択してください。※英語は「中学生」と「高校生」のみになります。あとは、学習したいステージ、レッスン、ユニットを選択するとドリルがスタートします。

ドリル画面には「学習時間」も表示されますので、参考にしてください。時間制限はありません。



テストで挑戦

テストには、「小テスト」と「学力診断テスト」の2種類があります。

「小テスト」

日々の理解度を確認するためのテストです。学習した内容の理解度や定着度を、手軽に確認することができます。定着ドリルでの学習範囲を指定すると、10分の小テストを自動で作成します。テストが終わると、結果と解説、つまり診断の結果などが表示されます。

「学力診断テスト」

学力を総合的に診断できるテストです。学年ごとや学期ごとの実力判定テストを、選択して受験できます。弱点を克服し、確実に基礎力を伸ばすための「重点学習カリキュラム」がついてきます。「学力診断テスト」には、特定の期間のみ受講することができる期間限定版があります。こちらでは偏差値の出力も可能です。



速習コースで対策

定着ドリルには、目標に合わせて効率よく対策をすることができる様々なコースがついています。

「英検対策コース」

日本英語検定協会の実用英語技能検定（いわゆる英検）の5級、4級、3級を級ごとに対策学習することができます。

「中学英語総復習コース」

名前の通り中学校で学ぶ英語を総復習することができます。中3生の総仕上げや高校受験対策にも活用できますし、高校生の復習にも便利です。レベル別に「基礎コース」「標準コース」「レベルアップコース」の3種が用意されています。

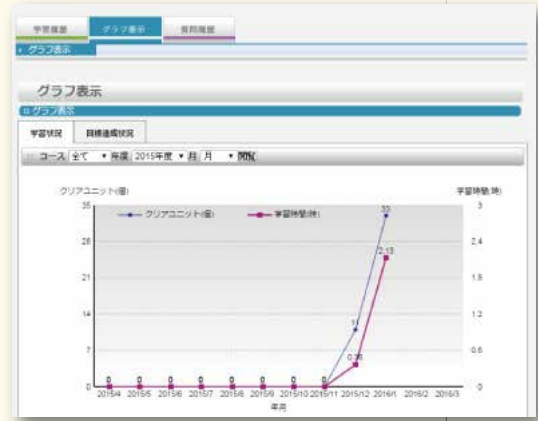
「数学検定対策コース」

日本数学検定協会の実用数学技能検定（いわゆる数学検定/算数検定）の8級～3級までを級ごとに対策学習することができます。



学習を管理する

定着ドリルには、学習目標や学習目標を立てたり、その進み具合を確認することができる「ラーニングデザイナー」という機能があります。学習の前後で、進捗をチェックするようにしましょう。



学習目標を立てよう

設計図を作らずに家を建て始めたら、どうなると思いますか？
きっと、作っている途中もわけがわからなくなるし、いつまでたっても終わりが見えなくて、不安になってしまいます。それに、思った通りの家は作れないでしょう。勉強も同じで、目標を立てて計画（設計図）を作ると安心して前に進むことができるのです。

ここでは、定着ドリルの学習目標と計画の立て方を見ていきましょう。

Step.1

トップ画面で、「学習目標」パートの上の方をクリックしてみましょう。ちょうど「残りの目標は」と書かれている部分になります。

Step.2

右のようなカレンダーの画面が開くので、左上の「ラーニングデザイナー」と書いてあるところをクリックします。

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

Step.3

この画面で、目標の登録や変更、削除などを管理することができます。右側にある「目標を登録する」というボタンをクリックしましょう。
※ちなみに、「行事を登録する」というボタンを使ってスケジュール管理も同時に行うことができます。

Step.4

後から何のための目標を立てたのかがわかるように、目標に名前をつけていきましょう。達成したときのご褒美を書くのも良いでしょう。

【目標名】*

中間試験に向けて

【備考】

これをクリアしたら、2学期の中間試験はバッチリ!! ...のはず。

Step.5

さあ、ここからが本番です。画面に従って、期間、コース（普通はスタンダードコースです）、学年・教科、ステージ等を選びます。「表示」ボタンを押すと、次のように当てはまるユニットが下に表示されますので、目標にしたい箇所をクリックします。

【学習範囲選択】*

ユニットから設定 テストから設定

【対象期間】
2016/01/21 ~ 2016/01/31

(学習範囲の絞り込みを行いたい場合)。
絞り込みたい条件を選択して、表示ボタンをクリックすると選択した条件で一覧が表示されます。
* : 選択が必須となります。

絞り込み スタンダードコース 中学・英語 学年・教科選択 *

クリア状況選択 WeakPoint有無選択 *

単元名 表示

学習時間計:

学習範囲 標準時間 クリア回数 Weak Point

Step.6

クリックすると、オレンジに色が変わります。選択が終わったら「学習範囲を追加/変更する」ボタンを押して、内容を確認したら「保存する」ボタンを押します。これで学習目標が登録されました。

【対象期間】
2016/01/21 ~ 2016/01/31

(学習範囲の絞り込みを行いたい場合)。
絞り込みたい条件を選択して、表示ボタンをクリックすると選択した条件で一覧が表示されます。
* : 選択が必須となります。

絞り込み スタンダードコース 中学・英語 Stage1 レッスン選択

クリア状況選択 WeakPoint有無選択

単元名 表示

学習時間計: 110分0秒

学習範囲	標準時間	クリア回数	Weak Point
Lesson0 オリエンテーション	15分0秒		
Lesson1 be動詞の否定文 "This is" "That is"	unit01 登場人物の紹介	15分0秒	
	unit1 This is America. That is Japan.	20分0秒	
	unit2 This is Mike. That is Alice.	20分0秒	
	unit3 This is a bone. That is a cat.	20分0秒	
	unit4 This is a strawberry. That is an apple.	25分0秒	
unit5 英語の文のルール	25分0秒		
unit6 This is not a bone. That is not Tom.	20分0秒		1 Weak Point

学習範囲を追加/変更する キャンセル

【目標名】

From	To	学習範囲	標準時間	学習日設定	追加/変更	削除
01月21日(木)	01月31日(日)	ユニット 英語 中学 Stage1 Lesson1 unit1	20分0秒		変更	追加/変更する
01月21日(木)	01月31日(日)	ユニット 英語 中学 Stage1 Lesson1 unit2	20分0秒		変更	追加/変更する
01月21日(木)	01月31日(日)	ユニット 英語 中学 Stage1 Lesson1 unit3	20分0秒		変更	追加/変更する
01月21日(木)	01月31日(日)	ユニット 英語 中学 Stage1 Lesson1 unit4	25分0秒		変更	追加/変更する
01月21日(木)	01月31日(日)	ユニット 英語 中学 Stage1 Lesson1 unit5	25分0秒		変更	追加/変更する

保存する

Step.7

Step.5 のときに「テストから設定」というタブを選ぶと、「小テスト」や「学力診断テスト」というボタンを押すことでテスト範囲に合わせて目標設定をすることができます。1日にどのくらいの時間勉強するのも設定できるので、テストに向けた目標設定には便利です。

【学習範囲選択】*

ユニットから設定 **テストから設定**

小テスト 学力診断テスト

【対象期間】
2016/01/21 ~ 2016/01/31

(学習範囲の絞り込みを行いたい場合)。
絞り込みたい条件を選択して、表示ボタンをクリックすると選択した条件で一覧が表示されます。
* : 学力診断テスト(設置済定域) ☆ : 学力診断テスト
* : 選択が必須となります。

絞り込み 中学1年 英語 学力診断テスト 表示



ドリルの使い方

ドリルの特徴

定着ドリルのドリルには、次のような特徴があります。

自分のレベルに合わせて出題します

難しすぎる問題は、どうしても諦めたくなくなってしまいます。でも、簡単すぎる問題ばかりでも飽きてしまいますよね。そこで、今の自分にピッタリ合った難易度の問題を探して問題を出していきます。

次々に違う問題を出題します

同じ問題を繰り返し解いていると、答えを覚えてしまうことがあります。それだと、ちゃんと理解ができたのか単に解答を覚えてしまっただけなのか、わかりません。

だから定着ドリルは、次々に違う問題を順番を変えながら出題していきます。圧倒的な問題数を持っている定着ドリルだからできることです。

できるまでしつこく出題します

ドリル画面の右側（国語では左側）にあるゲージが100%になるまで、ドリルはクリアさせません。少しスパルタですが、ひとつひとつの単元を着実に解けるようになってほしいと考えています。

ドリルの始め方

ドリルでトレーニングをしましょう。

ドリルは、教科書などに合わせて単元別に理解を定着させていくトレーニングができます。定期テストの対策や予習・復習に活用しましょう。

学習したいユニットを指定すると、ドリルがスタートします。

ユニットをクリアすると、結果と解説、つまづき診断の結果などが表示されます。

Step.1

トップ画面で「ドリルで鍛える」をクリックします。



Step.2

選択画面が出てきますので、教科と学年を選びます。教科は「英語」「国語」「数学/算数」の3教科から選択してください。学年は「小学生」「中学生」「高校生」の3つから選択してください。

※英語は「中学生」と「高校生」のみになります。

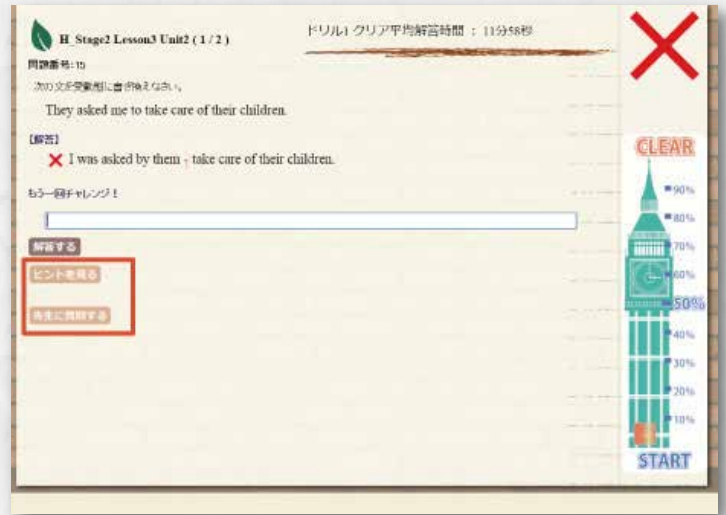
あとは、学習したいステージ、レッスン、ユニットを選択するとドリルがスタートします。



Step.3

画面には、「クリア平均解答時間」と「クリアゲージ」が表示されます。クリアゲージが100%になれば、ユニットクリアとなります。ユニットをクリアするまで、ドリルは終わりません。全国でドリルにチャレンジしている生徒がクリアにかかる平均的な時間が、「クリア平均解答時間」となります。目安にしてください。

間違えると、問題にもう一度チャレンジをするように解答欄が表示されます。その下には「ヒントを見る」ボタンと「先生に質問する」ボタンも出てきます。



「ヒントを見る」

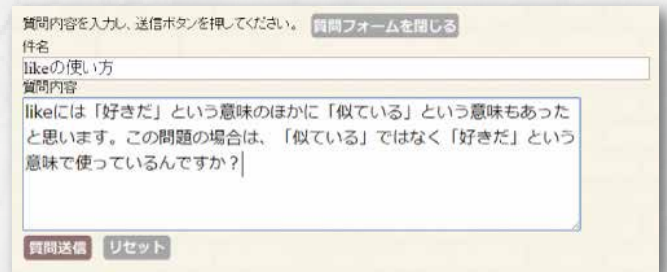
解き方がわからない時は、ヒントを見てから回答してみましょう。「ヒントを見る」ボタンが表示されるときは、クリックするとヒントが表示されます。

ヒントを閉じる

likeは「～を好む、好きだ」という状態を表す動詞だよ。

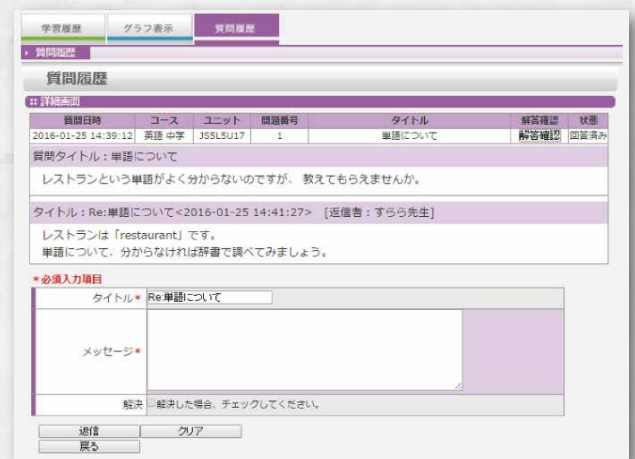
「先生に質問する」

ヒントを見てもわからない時や、確認したいことがある時には、先生に定着ドリルの画面上で質問を送信することができます。「先生に質問する」ボタンをクリックして、質問内容を入力して送信しましょう。



担当の先生によっては、この質問機能を使っていないことがあります。その場合には、この画面で質問を送信しても先生が確認できない可能性がありますので、あらかじめ先生に質問機能を使って良いかどうかを聞いておきましょう。

自分の送信した質問の履歴や先生からの回答は、画面上の「質問履歴」というボタンをクリックすれば確認できます。



つまずき診断機能とは？

例えば、中3で習っている単元がわからない場合、そのつまずきの原因は中1や2で学習する範囲がしっかりと定着していないことが原因になっていることも少なくありません。

定着ドリルは、わからないところ、苦手なところを診断します（特許第5284016号）

定着ドリルのドリルには、自分のつまずいているポイントを把握し、戻って学び直すようにサポートするナビゲーション機能がついています。

高校生の範囲を習っていても、小学・中学範囲の理解不足まで指摘。わからないところを確実にわかるようにしていきます。

難易度コントロールとは？

誰だって、自分にとって難し過ぎる問題ばかりが出題されると、途中でイヤになって挫折してしまいます。逆に、簡単な問題ばかりやっても一向に実力はつきませんし、飽きてしまいます。

定着ドリルは、自分に合ったレベルの問題が出題されます！

定着ドリルのドリルは、ドリルを解いている中で自分自身の実力を判断してくれて、7から8割の正答率になるように問題の難しさを調整して出題してくれます。

自分に合った丁度いい難易度の問題を解くことにより、適度な緊張感を保ちながら成功体験を得ることができるのです。



テストの使い方

テスト機能の特徴

「定着ドリルで学習したことがどのくらい身についたか、測定できる機能があればいいのに」
「自分だけの個別カリキュラムがほしい」
こうした声にお応えし、シーンに応じて理解度を測定できるテスト機能を搭載しています。

従来のテストとの違い

いろいろなところで実施されている従来のテストは、「何ができていないか」を判定するものが大半です。確かにどこができていないかを知るにはこれで十分です。しかし「できていない」ところを、どのように「できる」ようにするか、その具体的な学習内容やコンテンツを提示しているものはなく、結果を見て終わり…となってしまうというのが多いのです。

定着ドリルのテスト機能が従来のテストと大きく違うのは、まさしくこの点です。

「どこができていないか」だけでなく、具体的に学ぶための単元の提示が一体となっていることで、受験結果を確認し、提示されている単元を学習目標に設定をするだけで、個別対応のカリキュラムを作成することができます。対策を具体的に提示し、次のテストまでの道筋を示すことができる、これが定着ドリルのテスト機能の強みです。

テスト機能には2種類あります

定着ドリルのテスト機能には「小テスト」と「学力診断テスト」の2つのテストがあります。

日々の理解度把握に、テスト前の対策に、新学期や新学年前の弱点克服にと、様々なシーンに応じて幅広くご活用いただけるラインナップです。



テスト機能の3つの特徴

1. 範囲を自由設定：学習している箇所に合わせてテストを作成できます

テストを受けるからには、自分の学習した内容に合ったものや、対策したい試験の範囲に合ったものの方がいいですよね。定着ドリルのテスト機能なら、小テストは定着ドリルの学習範囲から、定期テスト対策は教科書の項目やページ数から、自由にテスト内容を選択できます。日々の理解度確認もテスト前の見直しも、すべて対応できます。

2. 丁寧な診断結果表示：正解率だけでなく、学び直しも一目瞭然です

テストを受けたら採点されて返ってくるまで時間がかかる…、そんなことも定着ドリルのテスト機能ならありません。テストが終わると自動採点ですぐに結果を確認できます。しかも、問題の正誤や正答率だけではなく、何を学び直せばいいかまでしっかり示されます。結果は出たけどどうやって勉強すればいいかわからないという悩みも、一気に解消できるのです。

3. 結果が残せる：再テストや過去の履歴の参照もできます

苦手なところを勉強したけど、本当に力がついたかどうかわからない…。何度もテストを受けられない通常のテストでは、こんな悩みもありがちです。そんな悩みを解消できるように、定着ドリルのテスト機能では同じ問題の再テストを受けることが可能です。しかも、過去の履歴もしっかり保存されていますから、学び直した後の再テストでどれくらい理解が進んだか、その成長も一目瞭然です。

小テストにチャレンジしよう！

小テストは、日々の理解度を確認するためのテストです。学習した内容の理解度や定着度を、手軽に確認することができます。

定着ドリルでの学習範囲を指定すると、10分の小テストを自動で作成します。テストが終わると、結果と解説、つまり診断の結果などが表示されます。

Step.1

トップ画面で「テストで挑戦」をクリックします。



Step.2

「テストを選ぶ」画面で「小テスト」をクリックします。



Step.3

画面の通りに選択をしていって、「テストをする」ボタンをクリックします。次の画面では、テストを受けたい範囲を指定しましょう。最後に「テストを受ける」ボタンを押せば10分間の小テストがスタートします。

step1. 教科を選んでください。
 英語 国語 算数/数学

step2. 学年を選んでください。
 小学部 中学部 高校部

step3. テストをしますか?それとも過去の履歴を見ますか?

数字 中学部

Stage Professor

ユニット LessonUNIT1 ユニットから LessonUNIT1 ユニットまで

チェックをクリア

科目
 Professor プレレクション
 Lesson1 文法:数詞計算
 Unit1 Unit1上の過去形
 F1013
 Lesson2 文法:計算
 Unit1 Unit1上の過去形
 F1013
 Unit1 Unit1上の過去形
 F1013
 Unit1 Unit1上の過去形
 F1013
 Lesson3 文法:動詞
 Unit1 Unit1上の過去形
 F1013
 Lesson4 文法:動詞
 Unit1 Unit1上の過去形
 F1013

小テストの結果を確認しよう!

小テストを受けたら、その結果がすぐに表示されます。結果を確認して必要な箇所を復習することができます。ここでは結果の確認方法をご紹介します。

Step. 1

まずは、小テストの結果一覧を確認しましょう。ここで、単元ごとの正解率やそれぞれの問題にかかった時間、全国の生徒が解いている平均解答時間との差異などがわかります。

小テスト科目詳細ポイントへ

テストNo. 0000010 採点結果 学習日:2016-01-21 積点:30点 (3/10問) 解答時間:02:55

単元	問題	正解率	平均解答時間	自分の解答時間	正誤
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	1	100%	01:30	01:30	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	2	100%	01:35	01:35	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	3	100%	01:20	01:20	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	4	100%	01:17	01:20	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	5	100%	01:10	01:45	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	6	100%	01:18	01:40	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	7	100%	01:10	01:30	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	8	100%	01:22	01:40	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	9	100%	01:20	01:20	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	10	100%	01:18	01:20	(正)

Step. 2

間違えた問題は、「解説を見る」をクリックして理解しておきましょう。定着ドリルには1問1問に詳しい解説がついています。

小テスト履歴を見る

問題番号:5

【問題】
 I (won't) him till Monday.

【正解】
 I (won't call) him till Monday.

【解説】
 「～するつもりです」という意味を表す動詞がわかる動詞は wait です。つまり wait があります。なので、wait の否定形になります。否定 wait is won't と記載されます。音声も聞いて発音を確認しましょう。

Step. 3

科目別に補強ポイントを確認することもできます。問題を解くために必要なスキルのうち、どのスキルが足りていなかったかが一覧でわかります。そのスキルを学ぶことができる単元を、一括で学習目標に設定することもできますので、ドリルでトレーニングし直すと良いでしょう。

小テスト科目詳細ポイントへ

テストNo. 0000010 採点結果 学習日:2016-01-21 積点:30点 (3/10問) 解答時間:02:55

単元	問題	正解率	平均解答時間	自分の解答時間	正誤
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	1	100%	01:30	01:30	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	2	100%	01:35	01:35	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	3	100%	01:20	01:20	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	4	100%	01:17	01:20	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	5	100%	01:10	01:45	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	6	100%	01:18	01:40	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	7	100%	01:10	01:30	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	8	100%	01:22	01:40	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	9	100%	01:20	01:20	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	10	100%	01:18	01:20	(正)

小テスト履歴へ

※オレンジ色になっている部分を学習しよう!

Stage1 Lesson unit5 Whose are... is that?
 Stage1 Lesson unit5 Whose are... are you studying in your bed? No, I am...
 Stage1 Lesson unit5 Whose are... are you studying in the living room?
 Stage1 Lesson unit5 Whose are... are you studying in the living room?
 Stage1 Lesson unit5 Whose are... are you studying in the living room?
 Stage1 Lesson unit5 Whose are... are you studying in the living room?
 Stage1 Lesson unit5 Whose are... are you studying in the living room?
 Stage1 Lesson unit5 Whose are... are you studying in the living room?
 Stage1 Lesson unit5 Whose are... are you studying in the living room?
 Stage1 Lesson unit5 Whose are... are you studying in the living room?

Step. 4

過去に受けた小テストは、全て履歴として残っています。自分自身の成長を確認することもできますし、同じ問題を再テストとして受け直すこともできます。

小テスト科目詳細ポイントへ

テストNo. 0000010 採点結果 学習日:2016-01-21 積点:30点 (3/10問) 解答時間:02:55

単元	問題	正解率	平均解答時間	自分の解答時間	正誤
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	1	100%	01:30	01:30	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	2	100%	01:35	01:35	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	3	100%	01:20	01:20	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	4	100%	01:17	01:20	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	5	100%	01:10	01:45	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	6	100%	01:18	01:40	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	7	100%	01:10	01:30	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	8	100%	01:22	01:40	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	9	100%	01:20	01:20	(正)
Stage1 Lesson unit5 Whose are...	10	100%	01:18	01:20	(正)

基本条件

科目: 英語
 学年: 中学
 積点: 30
 解答時間: 02:55

並び順: 小テストNo. 大きい順

テストNo.	採点結果	学習日	積点	科目	学年	解答時間	問題	再テスト
0000017	25/30	2016/01/24 01:25	33	英語	中学	01:10	2ドリル	再テストを受ける
0000018	15/40	2016/01/23 15:40	0	英語	中学	01:20	5ドリル	再テストを受ける
0000019	30/40	2016/01/21 15:40	30	英語	中学	02:55	10ドリル	再テストを受ける

学力診断テストに挑戦しよう！

「学力診断テスト」は、学力を総合的に診断できるテストです。学年ごとや学期ごとの実力判定テストを、選択して受験できます。弱点を克服し、確実に基礎力を伸ばすための「重点学習カリキュラム」がついてきます。ここでは、学力診断テストの受け方を見ていきます。何度でも受け放題で、しかも結果がすぐに表示されます。

Step. 1

トップ画面で「テストで挑戦」を選びます。



Step. 2

「学力診断テスト」を選びます。



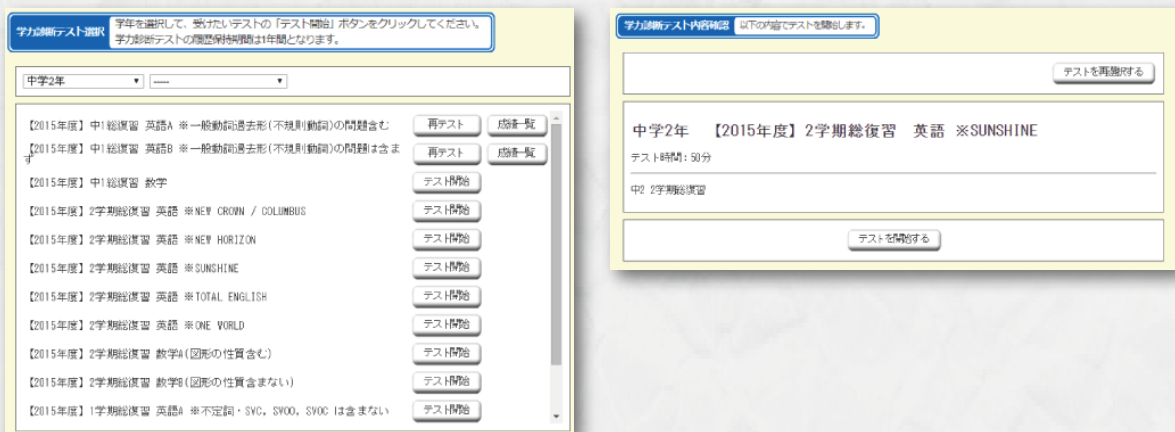
Step. 3

「学力診断テスト」を選びます。



Step. 4

学年を選択すると、受験できるテストの一覧が表示されます。受きたいテストをクリックすれば、すぐにテストが始まります。



学力診断テストの「期間限定版」とは？

学力診断テストには以下の2種類があります。

学力診断テスト

いつでも受験することができます。偏差値は表示されません。

学力診断テスト（期間限定版）

特定の期間のみ受験することができます。テスト期間終了後、約1ヶ月で偏差値が出力されます。なお、同じテストを2回以上受験することも可能ですが、偏差値の集計対象となるのは1回目のテストのみとなっておりますのでご注意ください。



トラブルシューティング

ドリルで数式入力ツールがでない

お使いのブラウザが古い可能性があります。最新のものにバージョンアップしてください。

ID・パスワードを忘れてしまった

まずは、担当の先生までお問い合わせください。

TOP画面の「学習目標」に学習設定や宿題設定をしたい

TOP画面の「学習目標」には、担当の先生が設定した学習目標単元が表示されます。

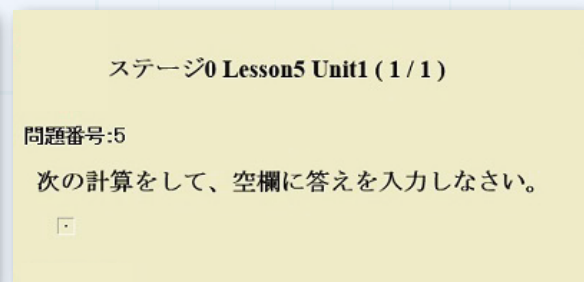
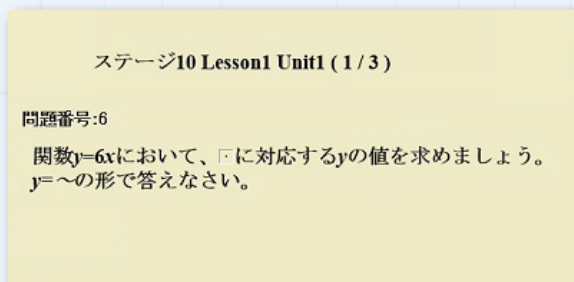
その他に、自分で学習目標を設定することも可能です。

学習目標のパーツの上の部分（「残りの目標は」と書かれている部分）をクリックし、[学習履歴]-[ラーニングデザイナー]から目標を登録することができます。



数学で問題文が表示されない / 回答欄が表示されない

ブラウザの表示設定によって、数学の数式表示や回答欄がうまく表示されない場合があります。その場合には、ブラウザの「互換表示設定」がONになっている可能性があります。下記のいずれかの手順をお試しください。



< 1 >

1. ブラウザの[ツール]から[互換表示設定]を開く
2. 「互換表示に追加したWebサイト」に「catchon.jp」が入っている場合は削除

< 2 >

ブラウザのURLの右側にある互換表示アイコンがONになっている場合はクリックしてOFFにします。



定着ドリルをタブレットやスマートフォンで使いたい

定着ドリルはiPadならびにAndoridタブレットに対応しています。申し訳ありませんがスマートフォンには対応しておりません。

iPadの場合はSafari、Androidタブレットの場合はChromeを利用して、定着ドリルのログイン画面にアクセスしてください。また、各タブレット端末の推奨動作環境につきましては、次のページからご確認ください。



推奨動作環境

(2020年6月現在)

定着ドリルで学習をしていただくためには、下記の条件を満たす環境をお勧めいたします。

最新情報は、<https://www.chieru.co.jp/products/jr-school/cloud-drill/system-requirements/> でご確認ください。

パソコンでの推奨動作環境

Windows

OS	Windows 10 / Windows 8.1 ※64bit 版のみ対応となります。 ※Windows 10sでの検証は未実施です。
CPU	Intel Core i3-2370M(2.40GHz) / Intel Celeron @1.10GHz 以上または同等の 互換プロセッサ
メモリ	4GB 以上
画面解像度 モニター	すらは画面内の情報量が多い教材のため、 なるべく大きなモニター/解像度でのご利用を お勧めします。
アプリケーション	Windows 10 :標準ブラウザ(Edge)/Google Chrome 81 Windows 8.1 :Google Chrome 81
その他	Adobe Flash Player ※セキュリティ担保のため、 最新のFlashPlayerのご利用を推奨します。

Mac

OS	macOS Mojave / macOS Catalina
CPU	1.2 GHz 以上
メモリ	8GB 以上
アプリケーション	Safari

※Macが対応するのは、小学校高学年版～高校版のみです。小学校低学年版はMac非対応となりますのでご注意ください。

Chromebookをご利用の方

OS	Chrome OS 80	ディスプレイ	すらは画面内の情報量が多い教材のため、 なるべく大きなモニター/解像度での利用をお勧めします。
CPU	1.1GHz 以上	アプリケーション	Google Chrome
メモリ	4GB 以上		

※ 推奨環境を満たしている機種でも、メーカーごとの仕様のバラつきにより、予期せぬ不具合が発生する可能性があります。

すらはネットでは、以下の機種にて導入実績がございます。

- ・Acer R751T-N14N
- ・Acer C738T-A14N

タブレットでの推奨動作環境

iPad タブレットでの学習の場合は、操作性や動作の安定性などの観点から、iPadをお勧めしております。

機種	第4世代以降のiPad (A6以上のチップを搭載しているもの) ※初代iPad mini はA5チップのため非対応
OS	iOS 11.4.1 / iOS12.4.1 / iPadOS13.5
ディスプレイ	9.7インチ以上、横向き ※iPad mini は画面サイズが小さいため非推奨
アプリケーション	Safari

Android ※すらはネットにおいては、「Nexus9」を用いて動作検証を実施しております。

OS	Android6.1/Android 7.0/Android 8.1 ※Android6.1はGoogle社のサポートが終了次第、推奨動作環境外となります。
CPU	1.7GHz 以上
メモリ	1GB 以上
ディスプレイ	8.9インチ以上、横向き
アプリケーション	Google Chrome81

※「定着ドリル」は、文字入力を伴う問題などアウトプットの多いアクティブな学習スタイルを取っています。タブレットのソフトウェアキーボードももちろん使用可能ですが、外部キーボード(Bluetooth 接続など)のご利用を推奨いたします。

※先生用画面や保護者用画面につきましては、現在のところタブレットに対応しておりません。恐れ入りますが、パソコンにてご利用いただけますようお願いいたします。

※Androidタブレットは、推奨環境を満たしている機種でも、メーカーごとの機器の仕様のバラつきが大きく、予期せぬ不具合が発生する可能性があります。

※1万円台の低価格モデルではCPUが推奨スペックを満たさないものが多いため、定価3万円以上のモデルを中心に選定頂くようお願いいたします。

ネットワーク環境について 「定着ドリル」はインターネットを介して学習を行うため、一定以上の速度かつ安定しているネットワーク環境の下でご利用ください。

◀インターネットプロバイダ▶

(個人でご利用の場合)光回線 - フレッツ光など

(塾/学校など複数人で同時利用する場合)法人向けインターネットプロバイダ - フレッツ 光ネクスト ビジネスタイプなど

◀ルーター/スイッチ▶

(個人でご利用の場合)

無線:ミドルクラス以上の無線LAN ルーター - 目安 定価10,000円/台以上の価格帯のもの

有線:LANポート 1000BASE-T 対応モデル

(塾/学校など複数人で同時利用する場合)

無線:カタログの接続可能台数をご確認のうえ、ご利用予定台数の接続が可能な機器をお選び下さい。

ただし、カタログ上の接続可能台数いっぱい接続すると不安定になる場合があるため、カタログ値の50%程度の接続台数を目安としてください。

有線:LANポート 1000BASE-T 対応モデル

Copyright ©SuRaLa Net Co.,Ltd. All Rights Reserved.

お問い合わせ先

メールにて受け付けております。
お問い合わせの際は「定着ドリルの件で」とお申し付けください。

QRコードで
簡単アクセス！

